

## 体にハンディがあって、家をリフォームしたい方へ

「誰にも迷惑をかけたくない」

「もう、在宅介護は無理かもしれない」



「絶対、自分一人でトイレに行きたい」

「慣れない事ばかりで精神的に疲れました」



「いつでも自分の好きなときに、好きなところへ出掛けたい」

「介助するにも、体力的にだんだん負担に感じるようになりました」

## あなたの「どうしよう」を「こうしよう」へ。

「仕事も始め、社会参加も出来るようになりました」



「一人で出来ることが、こんなに増えました」

「毎日の暮らしがとても快適となり気持ちにもゆとりも生まれました」

「夜でも家族に気を使う事無く生活ができるようになりました」

介護リフォーム  
com

「本人家族が安心して暮らすために」

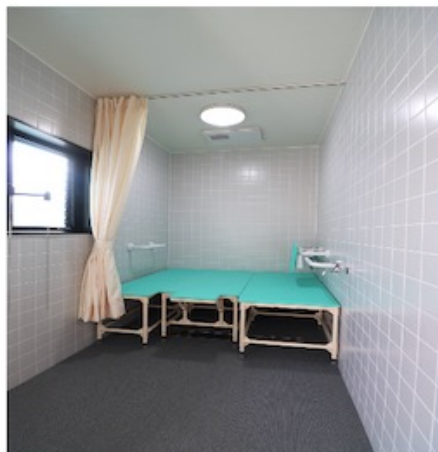
<http://www.介護リフォーム.com>



## 「一人で出来ることが沢山増えました」（甲斐市Y様）



頸椎損傷者専用のトイレです。移乗台の高さは500mmに設定しており、車椅子からの乗移もスムーズに行えるように考えました。



床面積は畳2帖分の専用浴室です。シャワー浴のみですが、背もたれも設置して長時間でも使い易い浴室としました。



元々、開き親子ドアだった玄関ドアを、車椅子に乗ったまま一人でも容易に開閉できる2枚の引き戸にリフォームしました。

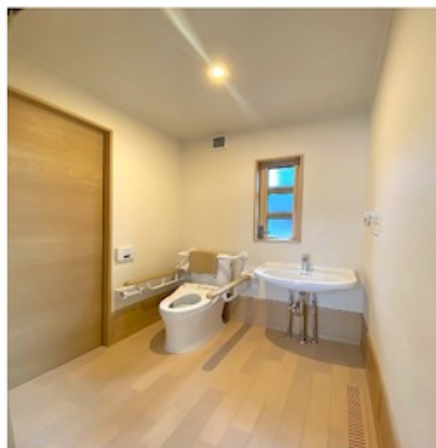
「私は不慮の事故により頸椎損傷となり、両上下肢も不自由で車椅子を使わなければならない生活となりました。埼玉県所沢市にある国立リハビリテーション病院で過ごした後、実家のある山梨へ帰ります。実家と言ってもごく普通の家で、体にこれだけのハンディのある私が不自由なく生活を送ることなど出来ると思えず、どうすれば良いのか悩んでいたところ、伊東さんを紹介されました。

普段、施設にあるような入浴や排せつの環境さえ整ってさえいれば無理なく暮らせますが、自宅をどう改修すれば良いのかなどを様々な角度で検討しました。

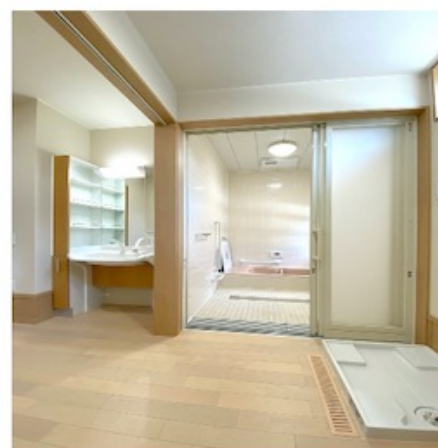
時間をしっかりかけて設計し、きちんと施工した我が家は、改修工事という限られた条件の中、大変使い易い環境となり、一人で出来ることも沢山増え、安心して暮らすことが出来るようになりました。

大変ありがとうございました」

## 「車椅子の生活に、適切に対応した家が希望でした」（富士河口湖町N様）



車椅子で、便器の近くまで寄ることが出来て移乗も容易に出来るトイレ。跳ね上げ手すりも左右に設置した畳2帖分の排せつスペース。



毎日使う水廻りだからこそ広い空間が欲しい。車椅子に対応した洗面台と、出入りを容易とした浴室や、たっぷりの面積の洗面脱衣室兼洗濯室。



食べることは、毎日の事。3度の食事は、大事な生活のリズムとなります。調理や片付けなど、使い易い環境を整えました。

「勤務中の事故のため、胸椎損傷となり、私は車椅子での生活となりました。

体が不自由だと、日常生活場面において様々な制限があります。

私は下肢の運動機能が不十分のため室内の移動はもちろん、排せつ、入浴、食事、出入りや就寝など、全ての生活場面において、健常者と比べて大きなハンディキャップがあります。

私の家づくりでは、こうした車椅子の生活でも、無理なく安全で使いやすい家を作りたかったことが第一希望でした。

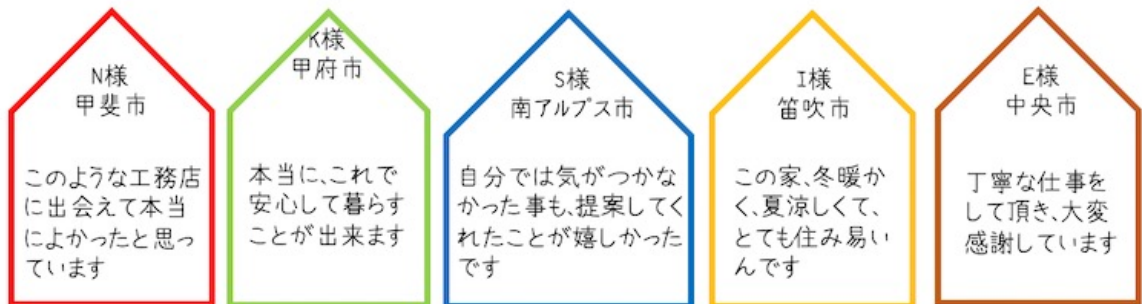
でも最初はどこの工務店に聞いても、私のような車椅子に対応した家づくりの経験もなく、私の体のことも理解してもらおうことも出来なくて困っていたところ、伊東工務店さんと出会うことが出来ました。

住み始めて一年が経過しますが、車椅子での生活に対応した、冬暖かく夏涼しい家に大変満足しています」

## ■一人で出来ることを増やすための6つの約束

1. 本人、家族の望む暮らしのヒアリングは、時間をかけ丁寧にいきます。
2. 生活をリアルにイメージして計画します。
3. 社会資源を合理的に最大限利用し、その情報を的確に伝えます。
4. 本人の身体機能やその予後などの情報を元に、根拠のある設計を行います。
5. 使用する福祉用具などと住環境とのマッチングを考えます。
6. 専門職ではなく、支援者目線で対応します。

## ■工事を終えた、お客様の感想



あなたの「どうしよう」を、「こうしよう」へ。

住まいは、日々の積み重ねを支える大切な場所です。しかし、年齢や身体の変化とともに、これまで当たり前で過ごしていた空間に「どうしよう」と戸惑うこともあるかもしれません。

私たちは「福祉住環境コーディネーター1級」のプロとして、そんな心の中の「どうしよう」に寄り添い、確かな技術で「こうしよう!」という前向きな暮らしを形にします。

型通りの工事はいりません。身体状況やご家族の想い、そして「庭の草花を楽しみたい」「家族と食卓を囲みたい」といった、あなたの願いを何よりも大切にします。

「安心」というゆとりある住まいを実現し、笑顔あふれる毎日をサポートいたします。

未来に希望が持てる住まいを、私たちと一緒に創り上げませんか。



担当する人 伊東誠三

福祉住環境コーディネーター1級  
一級建築士  
福祉用具プランナー  
認知症ライフパートナー応用検定  
(有)伊東工務店 取締役

山梨県甲府市で伊東工務店の三男(双子)として生まれた。大学卒業後、建築業界に入り、住宅や店舗、集合住宅など数々の設計、現場管理、施工を経験した。  
2000年、「福祉住環境コーディネーター」の資格と出会い、それまでまったく知らなかった高齢者の特性、疾患や障害、福祉用具などを独学で学ぶ。  
2007年には難関とされる「福祉住環境コーディネーター1級」を山梨県第一号として取得。  
同時に、高齢者や障害をもつ方の住環境整備 800件以上の設計や施工を实践。

こんなお悩みありませんか？



- どれくらい費用がかかるのかな
- 一人で出来ることを増やしたい
- 日中は一人にしておけない
- 介護のリフォームって難しいの
- どうすれば良い工事が出来るのだろう
- 介助の負担を軽減したいんです
- 福祉用具はどれを選んだら良いのだろう
- 介護リフォームって、誰に頼めば良いのだろう

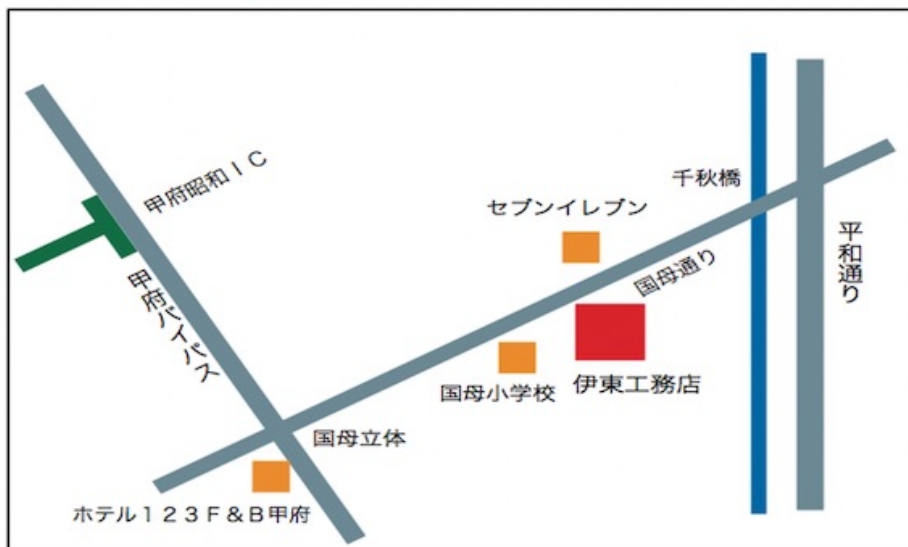
ご相談は**無料**です。豊富な経験と知識によりあなたのお悩みに適切に回答します。  
どんな小さなことでもご遠慮なくどうぞ。

お電話で、「介護リフォームのパンフレットを見た」とお伝え下さい

連絡先 055-228-8191 AM8:00-18:00 (月~土)

メールでもお待ちしております。

E.mail [seizo@ito-corp.com](mailto:seizo@ito-corp.com)



#### 会社概要

会社名 有限会社 伊東工務店

創業 昭和二十九年

設立 昭和四十二年二月

代表取締役 伊東 誠

所在地 〒400-0043 甲府市国母2-4-1

TEL 055-228-8191 FAX 055-228-7767

建設業許可 山梨県知事許可(特-8)50号

一級建築士事務所 山梨県知事許可(梨)1-011387号

